

NPO 法人 いきいき和歌山がんサポート会報 2015

いきいき和歌山がんサポートが法人化されて7年目を迎えました。
がん患者がどうすれば楽しく過ごせるかを考えます。
家族の心を考えます。良い治療について考えます。
がんに対する全ての取り組みを行っていきます。
そして、がんになってもいきいきと暮らせる街づくりを目指します。
みなさん、応援してください。

いきいき和歌山がんサポート
編集： 浦野 敏

谷野理事長は2013年1月から神奈川県相模原市の北里大学病院に転勤し、現在、乳腺・甲状腺外科の科長として活躍しています。引き続きNPOの理事長として活動しています。がん患者たちの希望であるNPOが益々発展していくよう、今後とも皆様のご協力をお願いいたします。

【2015年度の主な活動】

《がん患者サポート事業》

- ★ がん患者・がん家族のつどい（あい愛サロン）
毎月1回 第4土曜日開催 和歌山ビッグ愛 「がん患者サロン」
- ★ 再発・転移患者サロン（結い）
毎月1回 第4土曜日開催 和歌山ビッグ愛
- ★ がん患者・がん家族・一般県民（図書館いきいきサロン）
毎月1回 第1日曜日開催 和歌山県立図書館2階 ふれあいルーム
- ★ 県立医科大学付属病院(わ) 5月よりNPOとの共催になりました
毎月1回 第3金曜日開催 2階相談室
- ★ ケア帽子寄付【がん診療連携病院、9ヶ所】
和歌山県立医科大学付属病院、日赤和歌山医療センター、橋本市民病院、公立那賀病院、南和歌山医療センター、社会保険紀南病院、和歌山ろうさい病院、日高病院。新宮市医療センター
12月に各30個 合計270個のケア帽子を寄付しました。
- ★ リンパ浮腫講習会(2月22日)
- ★ リレー・フォー・ライフわかやま2015年に参加(5月23・24日)和歌山城 砂の丸広場
- ★ いきいきスマイルリレープロジェクト・キックオフミーティング(3月19日)

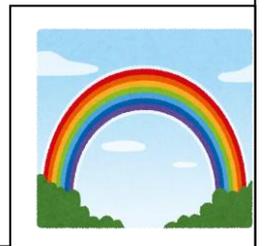
《がん診療向上事業》

- ★ 和歌山県立図書館と合同講演会(7月25日) 講師：谷野裕一理事長 県立図書館
- ★ がん在宅ケアネットワーク 毎月1回 公立那賀病院

《がん検診推進事業》

- ★ 人権フェスタブース出展(11月14日)和歌山ビッグホエール

(活動のようすはブログでご覧になれます。 <http://ameblo.jp/ikiiki-wcs/>)



年会費とご寄付のお願い

当会は皆様の会費とご寄付によって活動しています。どうぞ、ご支援下さいませようをお願いいたします。2016年度の年会費をなるべくはやい目に下記までお振り込み下さい。皆様のお気持ちに沿った種類をお選びください。

(※会費振込は4月～翌年3月末までです。)

(※すでにお振込み済のかたはご容赦ください。)

★個人

- ※ 年会費 3,000 円 ふた葉サポーター
- ※ 年会費 6,000 円 よつ葉サポーター
- ※ 年会費 10,000 円 わか葉サポーター
- ※ 年会費 30,000 円 いきいきの葉サポーター
- ※ 年会費 50,000 円 いきいきの木サポーター
- ※ 年会費 100,000 円 いきいきの森サポーター



※

★法人・団体で私たちの活動を支援していただける方 (入会金無料)

- ※ 団体サポーター 1口 10,000 円から
- ※ ハートフルサポーター 資金以外の支援 (駐車場や事務所などの無償提供、etc)

(※希望者はホームページに会社名を掲載いたします)

★寄付金は個人・法人どなたでも、1年に何回でもお受けします。

(※誕生日や結婚記念日の寄付や、毎月決まった日など)

(※希望者はホームページにお名前を掲載いたします)

【寄付送金先】	紀陽銀行 湊支店 普通預金 番号585222 名義 特定非営利活動法人いきいき和歌山がんサポート
【年会費】	郵便 00960-8-301658 名義 いきいき和歌山がんサポート

ロゴマークの意味

いきいきの木

木の幹の部分は「ひと」をモチーフにし、またいきいきのiの字を表しています。木は「いのち」を連想させ、人のちからでいきいきとして木=いのちが根付くイメージ。葉の部分が人の優しさや、エネルギーが集まっているようにも見えるかもしれません。



NPO法人

いきいき和歌山
がんサポート

活動報告

【人権フェスタ】



【ケア帽子の贈呈】



【いきいきスマイルリレープロジェクト・キックオフミーティング】



【リンパ浮腫学習会】



【リレーフォーライフ】



【ジャズマラソン】



ニュース和歌山・掲載記事

和歌山 2016年(平成27年)12月5日 土曜日 (4)

和歌山をよくする法案

提案者：杉谷 徹
(NPO)いきいき和歌山がんサポート

「もし自分やがんになったら」と考えたことはありますか？ がんになって初めて体験することがたくさんあります。身体的な辛さはもちろん、治療費や仕事の心配、気持ちの落ち込みなど、生じる困難に患者や家族は日々悩み、深く考えることが多くあります。

いきいき和歌山がんサポートは患者やその家族が集まり、情報交換するがんサロンの開催を計画しています。また、がん患者やその家族の生活の困りごとや精神的苦痛などをサポートする多岐の相談など具体的な支援の場づくりを目的として、市民の力を結集し、がん相談会を開催します。

公民館で街中がん相談会を

市民の力を結集し、がん相談会を開催します。市民の力を結集し、がん相談会を開催します。市民の力を結集し、がん相談会を開催します。



この法案に「意見を」として、市民の力を結集し、がん相談会を開催します。市民の力を結集し、がん相談会を開催します。市民の力を結集し、がん相談会を開催します。

和歌山 2016年(平成28年)3月19日 土曜日 (2)

者に寄り添って

がんを患う人や家族を支援する市民の取り組みが進んでいる。医療、介護の知識を学ぶ勉強会プロジェクト、また、灯りを文字にするルミナリエイベント。「患者の力になりたい」との思いに変わりはなく、医療や介護の正しい知識を伝えるため、NPOいきいき和歌山がんサポートは4月、専門家招いて勉強会「いきいきスマイルレレープロジェクト」を立ち上げる。同会の杉谷徹さんは「がんは2人に1人がなる時代。健康なうちに制度や保険を学び、自己解決能力を高めてほしい。知識を持つと、最後まで自分らしい生き方を選択できます」と力を込める。

がん患者やその家族を精神的に支え、市民のがんの意識を高めようとして10年に発足した同会、勉強準備を進める杉谷さん(左)、石井浩子さん(右)は「106050」。

最後まで自分らしく

月1回医療、介護の勉強会

会は、県立図書館(和歌山市西高松)と協同で毎月第1日曜日に同館2階で実施。中、「制度を知らず、治療医療と介護の現場で働く人や看護の幅をせばめている人が増えれば」と願う。法、病気になる前の働きがゆきを感じ企画したが、方々暮らし方といった役立

書も学び、より質の高い本選びができるようにしたい。病気や介護は身近な問題。他人事を自分事に考える人が増えれば」と願う。第1回は4月3日(日)午後2時、社会保険労務士の丸畑雄司さんが「知っておきたい役に立つ制度」として、高額医療費や医療費控除を説明する。これに先立ち、きょう19日(土)午後2時から、同市直川の北コミュニティセンターでキックオフミーティングを行う。同会理事長で北里大学付属病院の谷野裕一医師が医療3人を毎月勉強会に参加させる。同館2階、生きために」と話し話す。文化情報センター長が「最後まで自分らしい」の谷口義彦セ



2016年度の活動予定

- 4月14日 ピアサポーターのフォローアップ研修
- 4月～ 「図書館サロン」でいきいきスマイルレレープロジェクトの学習会を行います。
- 4月～ 「ケア帽子講習会」第1・第3水曜日 (予定)
- 5月14日～15日 リレーフォーライフわかやま (参加)
- 11月 人権フェスタ (参加)
- 10月 ジャズマラソン (参加)

NPO 法人いきいき和歌山がんサポート

〒640-8276 和歌山市芝ノ丁8番地

ホームページ <http://jimotoryoku.jp/ikiiki>

TEL/FAX 073-427-6050

メール ikiiki@jimotoryoku.jp

ブログ <http://ameblo.jp/ikiiki-wcs/>